



7月の青空の下、庭に

ひまわりの花が咲いています



豊川にてパート14

昼間は仕事とゴルフで過ごし、夜は相変わらずスナック通いの日々が続いていました。反省しているつもりでしたが、やはり誘惑には勝てず、またあのスナックに足を運ぶことになりました。

数週間が過ぎ、洋子さんのことが気になって仕方ありませんでした。彼女の顔を見たいという気持ちを抑えられず、再びスナックに向かいました。スナックに入ると、洋子さんは以前と変わらぬ笑顔で迎えてくれました。彼女の笑顔を見ると、心の中心にある罪悪感が少し和らぐような気がしました。その夜は特別な話もなく、ただ楽しい時間を過ごしました。しかし、帰り際に彼

女が私に話しかけてきました。

「今日はどうしたの？最近来なかったから、心配してたのよ。」

彼女の言葉に、私は一瞬戸惑いました。どう答えるべきか迷いましたが、正直に話すことにしました。

「実は、君とのことが頭から離れなくて、来るのが怖かったんだ。」

洋子さんは私の言葉に驚いた様子でしたが、すぐに優しく微笑みました。

「あなたがここにきてくれることが、私にとって一番の喜びなの。もう一度試してみない？」

その瞬間、私の心は揺れました。反省していたはずなのに、彼女の言葉に再び誘惑されてしまいそうになりました。その夜はぐつとこらえてその誘惑に

は乗るまいと思つて「いや今夜は好きな歌でもじゃらんじやん歌うよ」と別のはしゃぎ方で誤魔化している自分がいました。そして、再び同じ過ちを犯さないように、心に誓いました。

洋子さんとの浮気のことき彼女から「カゴさんこれは浮気ですよ、ただの浮気」と言われ遊んでいるつもりが、遊ばれているのだと気づきました。今時の若い人は割り切りがいいのだと自分に言い聞かせて、一生懸命に反省したり、彼女は大丈夫かと心配したことがバカみたいで、洋子さんととはこれまでと心に

人咳いて眠りに陥りました。即朝は雨、平日の雨です。化粧品のお店は今日は暇だろうなあと思いがながら、学研の本を朝早くから配達し集金に回り、かをは入院だし、息子はおばあちゃんのところだし、どうしようと考え、おばあちゃん所に息子を見に行こうと車を走らせました。

「どうしたの？」とおばあちゃんが飛んできました。「和宜の足が垢だらけ何日洗ってないの？」と私、おばあちゃんという人はそうした細かいことは気にしない人で、「毎日風呂に入っているけどね、和宜君洗っていないかったの」和宜は小学3年生、風呂に入るだけで体を洗わずに居た様です。やはり親がないとこうなるのかと、息子がかわいそうになりました。父親とも、母親とも離れ離れの生活、さぞ寂しかったろうと、私は息子を風呂の中で抱きしめてやりました。「ごめんね、お父さんが来れなくて、今綺麗に洗ってやるからね」と息子の足や体を洗いながら、涙が出てくるのを抑えられませんでした。

決めていたときのことを思い出して、彼女の誘惑を受け流していました。その後は歌を歌って帰途につきました。これでいいのだ、もう2度と浮気はしないと心に誓い独寝のベツトに横になりました。（反省は猿でもするか！）と一

「弘さん風呂入ってご飯食べていき」と言っていたので和宜と一緒に風呂に入りました。私もこのところ二、三日風呂に入っていないかったので、お言葉に甘えましたが、風呂に入ると和宜を待っている嬉しそうに飛び込んできました。久しぶりの親子の風呂です。湯に浸かって和宜が出たとき和宜の足が腿から下がまっくろになつていたので「なにこれなんで黒い？」と私、それ

その夜、私は息子と共に過ごす時間を大切にしようと思いましたが、おばあちゃんの家での夕食は心温まるもので、息子の笑顔を見てみると、私自身も心の中に暖かさが広がっていくのを感じました。食事の後、和宜は久しぶりに私の膝の上で眠りにつきまじりました。その姿を見て、彼の成長を見守ることの大切さを改めて実感しました。

翌朝、私は息子と一緒に学校へ向かい、彼のクラス担任の先生と話をしました。先生は息子の学校での状況を詳しく教えてください、彼が学校でも少し寂しうにしていることが分かりました。これからはもっと頻繁に学校に顔を出し、彼のサポートを続けていこうと思いました。

その後も、私は仕事の合間を縫って息子と過ごす時間を増やし、おばあちゃんの家へも頻繁に訪れるようになりました。和宜は次第に元気を取り戻し、私との時間を楽しむようになりました。週末には公園で遊んだり、映画を見たりと、親子の絆を深めることができました。

日々の暮らしの中で、私は息子と過ごす時間がいかに貴重であるかを改めて感じました。彼の笑顔を見るたびに、私の心は癒されました。これからも彼の健康と幸福を最優先にし、共に過ごす時間を大切にしていこうと心に誓いました。かをの病気は相変わらずでいつ退院できるのかわかりません。3人がバラバラの生活が暫く続くのだと思うと悲しくなります。

早く家族3人で生活できる日を楽しみに、私は仕事に和宜は学校生活を楽しんで過ごし、かをが帰ってくる日まで、我慢の生活です。私は自分が倒れたときのことを思い保険に入ることになりました。店の店長が知っている人がいるというので紹介してもらおうことにしました。朝日生命のセールスマンです。35歳、私より若いのですが、世帯持ちで子供さんが2人のなかなか魅力的な人でした。さあこの人との出会いが、私の人生に大きな影響を及ぼして来るのですが、それは次回で.....

東林院さんにて

沙羅咲いて 何をおもいて
散るのかと

問えば静かに 風が吹くだけ

白木花 諸行無常の雨に濡れ
はかなく落つる 盛者必衰



歌声喫茶 7月・8月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

7月10日、24日

8月14日、28日

楽々亭第55回 7月の予定

7月29日(火)

西京区役所洛西支所第三会議室

午後1時30分～3時30分

籠谷 弘



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。